

胃がん検診のご案内

検査を安全に受けて頂くために、必ず、お読みください。裏面もあります。

次の項目(1~15)に該当する方は **受診できません**。(内視鏡による検査の受診をお勧めします。) ご了承ください。

1. 食道・胃・十二指腸を外科手術(腹腔鏡も含む)で **切除** された方
2. バリウム・下剤に対し過敏症(アレルギー)のある方
3. 妊娠されている方、その可能性のある方(授乳中の方は受診可能)
4. 全身衰弱の強い方、自力での回転等の体位変換・体の保持が困難な方
5. 上の血圧が 200 mm Hg 以上、又は下の血圧が 110 mm Hg 以上の方
6. 体重が 135kg以上の方(装置の制限)
7. 日常的に強度の便秘のある方、又は以前にバリウム便が出ず、浣腸をしたり医療機関を受診された方
8. 水分摂取制限や下剤服用の制限のある方(透析中、心臓病、腎臓病、電解質失調等)
9. メニエル症候群と診断されたことのある方、めまい症状のある方
10. 日常的に飲食時にむせる方
11. 激しい腹痛などの症状のある方
12. 消化管^{*1}の急性出血、穿孔(穴があくこと)、閉塞(ふさがること)又はその疑いのある方
13. 潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性腸炎、憩室炎、腸重積、腸閉塞、腸捻転と診断されたことのある方
14. 消化管を治療中の方(癌、胃・十二指腸潰瘍、腫瘍、虫垂炎等)
15. 内視鏡による消化管の手術、生体組織検査をして1カ月経っていない方(胃・大腸のポリプ切除はこの項目に含まれます)

次の項目(16~22)に該当する方は **主治医の許可が必要**となります。許可がない場合、**受診できません**。あらかじめ主治医の許可を受けてください。(腸閉塞や腹膜炎を起こす可能性があります。)

16. 小腸・大腸(虫垂を含む)の外科手術(腹腔鏡も含む)を受けられてから初めてバリウムの検査を希望する方(そけいヘルニアの手術はこの項目に含まれます)
※ 食道・胃・十二指腸を外科手術(腹腔鏡も含む)で **切除**している場合は上記文章1に該当するため受診できません
 17. 消化管以外で腹部の手術を受けた方で、経過観察をされている方(胆のうの手術はこの項目に含まれます)
 18. 内視鏡による消化管の手術、生体組織検査をして1カ月以降3カ月までの方、又は経過観察されている方(胃・大腸のポリプ切除はこの項目に含まれます)
 19. 消化管の狭窄又はその疑いがある方
 20. 腸管憩室・そけいヘルニアを指摘されている方
 21. 通院・服薬されている方は、お薬の服薬方法や注意事項等を主治医にご確認ください(食事制限や水分制限があるため)
 22. てんかん治療中の方、および症状のあった方
- ※ 検査後に急な腹痛などの症状が出た場合、**直ぐに医療機関を受診**するようお願いいたします。

※1 こちらのご案内に記載されている「消化管」とは食道・胃・十二指腸・小腸・大腸(虫垂を含む)のことです。

バリウムの副作用についてご承知ください

ごくまれにバリウム製剤による次の様な副作用が発現することがあります。

□ ショック、アナフィラキシー様症状

バリウム服用後、じんましん、気分が悪い、顔色が青白い、手足が冷たくなる、喉が詰まる、息苦しい、息がしにくい等の症状が発現。このような症状が現れたら、直ぐに医療機関を受診してください。

□ 消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎

バリウムが腸管内に滞留することで、まれに消化管穿孔、腸閉塞が起こり、その結果として腹膜炎を併発し重篤な症状になることがあります。この様なことにならない為には、検査後できるだけ **早くバリウムを排泄する必要があります**。その為、検診終了時にお渡しする注意書き『胃がん検査後の注意事項について』に従い、必ず下剤服用・水分摂取をしてください。また便秘気味の方は事前に必ず申し出てください。

検査前 の準備

□ 食事、水分、タバコの制限について

※※ 以下のもの以外を摂取された場合、受診することができません ※※

	食事・タバコ	水分摂取	内服薬
午前 受診	検査前日の夜 10 時以降は食事はしないでください。 タバコも吸わないでください。	水に限り検診開始時刻の 2 時間前まででしたら飲んで頂いてかまいません。	事前に主治医とご相談ください。 検査当日服用する必要がある場合は、2 時間前までにコップ一杯 (200ml) 以内の水でお飲みください。
午後 受診	検査前日は夜 12 時までに食事を終えて下さい。検査当日は朝 7 時までに何もついていない食パン(トースト)1 枚とミルクの入っていないコーヒー又は紅茶、お茶に限り摂って頂いてかまいません。タバコに関しては、朝 7 時以降は吸わないでください。	ただし一度に大量に飲まないでください。目安としては 1 時間ごとにコップ一杯 (200ml) 程度にしてください。	

□ 検査時の服装について

検査時は **上半身・下半身共に、ボタン・ファスナー・ホック・等、金属やプラスチックのない服装** をお願い致します。例として、服装の上下が T シャツとジャージの様なものであれば、その服装で撮影できますので、ご持参ください。(ブラジャー・ボディースーツは取っていただきます)

検査後 の注意

□ 下剤服用・水分摂取について

検査後にお渡しした **下剤は、必ずできるだけ早く、多くの水で服用** してください。帰宅後もできるだけ多くの水分を取ってください。食事に関しては検診終了後、直ぐに食べて頂いて結構です。

バリウム便が排泄されない場合や持続する便秘、急な腹痛などの症状が現れた場合には、直ちに医療機関を受診してください。

なお、授乳中の方は検査時にスタッフに申し出てください。(乳児に影響を与えない下剤をお渡しします)

ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

一般財団法人 京都予防医学センター 075-811-9131(代表)